

# ちんどん屋の響き

音が生み出す空間と社会的つながり

阿部万里江 [著] 輪島裕介 [訳]

ちまた ところ  
通り抜ける音が、巷の情動に響きわたる

数十年の停滞のち再起した、路上の巡回広告業ちんどん屋。大阪の路地裏、震災後の仮設住宅、脱原発集会など、様々な場に集う情緒、力、関係が、〈ヒビキ〉によってあらわになる。初のちんどん屋研究書。

著者 阿部 万里江 (あべ まりえ)

1979年生まれ。民族音楽学者。ポストン大学音楽学科教授。専門はサウンド・スタディーズ、人文地理学、ポピュラー音楽研究など。高校から海外生活、カリフォルニア州立大学バークレー校大学院博士課程修了。

訳者 輪島 裕介 (わじま ゆうすけ)

1974年生まれ。音楽学者。大阪大学大学院人文学研究科教授。専門はポピュラー音楽研究、近現代音楽史。『創られた「日本の心」神話』(光文社新書)で、サントリー学芸賞受賞。

## 本書の内容

推薦の辞——林幸治郎／大熊ワタル  
日本語版への謝辞——阿部万里江

プロローグ 始まり

### 序章 ちんどん屋の響き

- 1 音の哲学者であり路上の民族誌家としてのちんどん屋
- 2 ちんどん屋の音と歴史
- 3 今日のちんどん屋
- 4 ちんどん屋の曖昧さ
- 5 本書一連の問い
- 6 ヒビキ／響き
- 7 方法についての覚書
- 8 章立て

### 第1章 歩く歴史

- 1 身体化されたヘテロフォニー
- 2 歩く技術
- 3 街のリズム

### 第2章 魅惑を上演する

- 1 民族誌のおとぎ話
- 2 ちんどん屋、他者性、同質性
- 3 大衆を歴史化する
- 4 懐かしさ、無垢、差異

### 第3章 想像共感の音を出す

- 1 移り行く近代性の地理
- 2 音の商売と想像共感
- 3 町廻り
- 4 ヒビキ
- 5 ちんどん屋を雇う
- 6 反個人主義の美学
- 7 即興について
- 8 洗練された不器用さ
- 9 聞き流されるために雇われる
- 10 響きと公共的親密性
- 11 ちんどん屋の不安定な聴衆

### 第4章 ちんどん屋を政治化する

- 1 ちんどんに触発されたプロジェクト
- 2 公共空間の危機
- 3 情動的類似性を探り当てる
- 4 まつりごと

### 第5章 沈黙の響き

- 1 街頭抗議におけるちんどん屋
- 2 ちんどん屋の音の労働
- 3 自粛の沈黙
- 4 生存の政治を音にする
- 5 賑やかさと生存の倫理

エピローグ 響きのアフオーダンス



阿部万里江 輪島裕介 訳

音が生み出す空間と社会的つながり

通り抜ける音が、ちまた ところ 巷の情動に響きわたる

数十年の停滞のち再起した、路上の巡回広告業ちんどん屋。大阪の路地裏、震災後の仮設住宅、脱原発の抗議集会など、様々な場に集う情緒、力、関係が、ヒビキによってあらわになる。初のちんどん屋研究書。

Resonances of Chindon-Ya (by Marié Abe) から初邦訳。  
巻末に、音楽学者・細川周平氏の解説付き！

■ トーハン、日販、楽天ブックスネットワーク、子どもの文化普及協会 経由にてお送りいたします。  
トーハン、日販、楽天ブックスネットワークの場合、返品はフリーでお受けいたします。(了解者：朝加)

『ちんどん屋の響き 音が生み出す空間と社会的つながり』

阿部万里江 [著] / 輪島裕介 [訳]

定価 3,850円 (10%税込) 2023年3月刊行

A 5判・並製/296頁 ISBN978-4-7907-1780-5

世界思想社用  
コード



書店印

お名前

ご注文冊数

冊



世界思想社

〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56

電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707